

# 農業の新しい技術

No. 602 (平成20年 7月)  
分類コード 02 - 04  
熊本県農林水産部

## ミニトマトにおけるナス台木利用技術

農業研究センター 天草農業研究所  
担当者：橋本直樹

### 研究のねらい

ミニトマトについては、近年外国からの輸入増加のため価格低迷が続いており、一層の高品質化が求められている。また、一部ほ場では青枯病が発生し、収量の大幅低下が問題となっている。

そこで、ナス台木を利用した高品質 (高糖度) 果の生産並びに病害低減技術を確立する。

### 研究の成果

1. ミニトマトにおけるナス台木の品種について、収量は「台太郎」「トナシム」が優れており糖度は「台太郎」がトマト台木と比較して1度以上高い。またナス台木はトマト台木と比較して草姿が一回り小さい (表1, 表2, 写真)。
2. 階級はナス台木はMサイズ中心で玉揃いが良く市場ニーズに合う (表3)。
3. ナス台木は収量がトマト台木と比較して収量が減少するが、かん水量を1.5倍まで増やすことで14%減まで改善できる (表4)。
4. かん水量を増やしても、糖度は期間をとおして0.7度高い (図1)。
5. ナス台木はトマト台木と比較してコンパクトであるため通常より密植が可能であり、株間40cmでは14%減まで収量が改善できる (表5)。
6. 現地青枯れ病発生ほ場において、ナス台木では発病が見られなかった (表6)。

以上よりミニトマトのナス台木は「台太郎」が有望であり、収量は減少するものの、糖度は上昇し、玉揃いも良くなる。また青枯病の発生も抑えられる。

### 普及上の留意点

1. ナス台木は生育が遅いので、穂木より2週間早蒔きを行う。
2. 接ぎ木は幼苗接ぎ木、呼び接ぎともに生育に差はない。
3. 青枯病発生ほ場については、必ず太陽熱消毒・薬剤消毒後、菌密度を低くしてから定植を行う。

[ 具体的データ ]

熊本県農林水産部

表1 栽培終了時生育調査 (H14年度)

台木 品種名	茎長		茎径		果房 段位
	10段	先端	10段	15段	
	cm	cm	mm	mm	段
トナシム	267	601	13	12	21.6
トルバム	259	603	14	13	21.8
台太郎	281	608	14	13	21.9
ナスの力	274	605	14	14	20.9
新メイト(トマト台木)	278	631	15	15	22.3

(1区10株調査)

穂木: 「千果」



対照トマト台木区  
(かん水量2L/株)



ナス台木1.0倍かん水区  
(かん水量2L/株)

表2 台木の相違が収量及び果実品質に及ぼす影響 (H14年度)

台木品種名	商品果	不良果	合計	商品果1果重	Brix
	kg	kg	kg	g	%
トナシム	33.8	0.6	34.4	11.4	8.1
トルバム	31.9	0.4	32.3	11.3	8.2
台太郎	33.0	1.1	34.1	11.2	8.7
ナスの力	31.1	0.8	31.9	11.2	8.2
新メイト(トマト台木)	46.0	1.1	47.1	12.5	7.6

(1区10株調査)

穂木: 「千果」

表3 階級別割合 (H14年度)

台木品種名	2L	L	M	S	2S
	%	%	%	%	%
トナシム	0	23	61	14	3
トルバム	0	26	57	15	2
台太郎	0	25	55	17	3
ナスの力	0	26	52	19	4
新メイト(トマト台木)	2	36	43	14	5

(1区10株調査)

穂木: 「千果」

表4 かん水量の相違が収量に及ぼす影響 (H15年度)

区名	商品果	不良果	合計	商品果1果重
	kg	kg	kg	g
多かん水区	37.6	2.3	40.0	12.3
標かん水区	27.9	3.0	30.8	10.9
少かん水区	24.0	2.7	26.8	10.6
新メイト(標準かん水)	43.9	5.4	49.3	13.0

注) 上物率: 合計個数に占める上物個数の割合 (1区8株調査)  
穂木: 「千果」ナス台木: 「台太郎」

ナス台木はトマト台木のかん水量(株当り2L/1回: 慣行)対比の1.5倍, 1.0倍, 0.5倍量のかん水を実施した。

表5 株間の相違が収量に及ぼす影響 (H16年度)

区名	商品果	収量比*	栽植本数
	kg/a	%	/a
40cmナス台木	1,195	86	278
45cmナス台木	1,034	75	247
50cmナス台木	984	71	222
50cmトマト台木	1,385	100	222

穂木: 「千果」ナス台木「台太郎」

\* 収量比はトマト台木を100とする

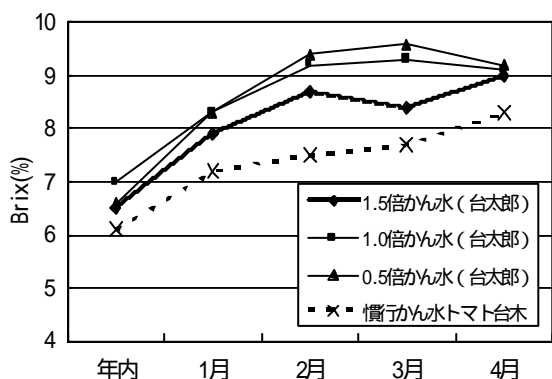


図1 糖度の推移 (H15年度)

表6 青枯病枯死率 (平成18年度)

台太郎	0%
トマト台木	30%

青枯れ病発生現地ほ場: 玉名市  
(1区40株調査)